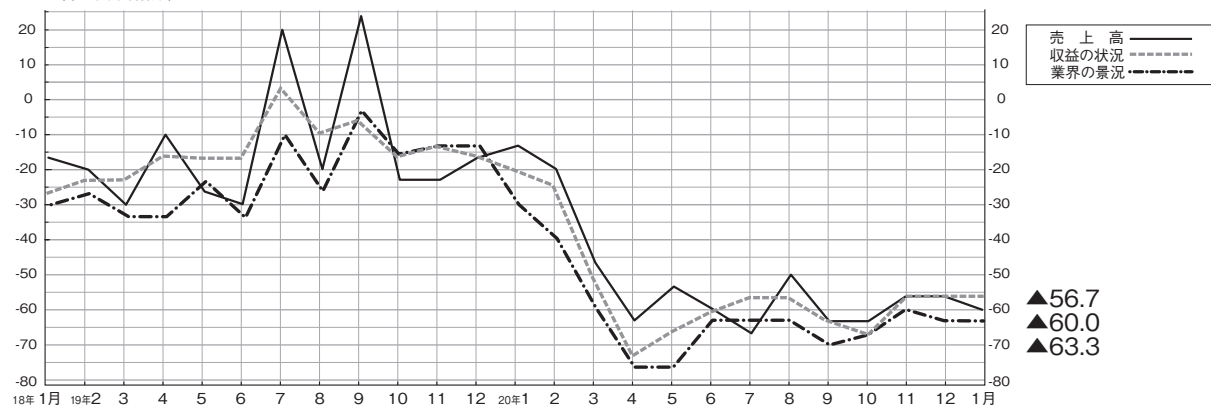


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年1月（前年同月比）

DI=(増加、好転)-(減少、悪化)
DI(景気動向指数)

情報連絡員報告



業界の状況



…好転



…やや好転



…不変



…やや悪化



…悪化

食品団地

1月商況は、県内はスーパーを除いて不調であったが、県外市況にはやや活気が見られた。輸出案件も引き合いが多くなり、今後に期待感が現れた。外食・お土産関連の県内市況の不調が心配である。

酒類製造

宴会、会合の自粛、観光客の減少による土産品の減少等大幅な売上減となる。年末・年始の緊急事態宣言延長の影響は計り知れず1月は最悪の結果となる。緊急事態宣言解除の復活にも長期が必要との意見も…

テントシート

新型コロナ感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少となっている。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況で、現在の状況が続くと思われる。

木製品素材生産

1月はスギ・ヒノキ共に量は1割程度ダウンであるが、材価については1割程度アップした状況。回復していることは考えられるが、製品市況・需給状況が見通せない不安がある。

製材

原木不足の状態は続いているが、製品と共に価格に大きな変化なく現状維持の状態。

製紙（家庭紙）

緊急事態宣言が主要都市に発出され、業務用商品の荷動きが少ない。その余波を受けて県内家庭紙メーカーは厳しい状況が続く。ノベルティー用のポケットティッシュも需要減。全般的に購買意欲が減退している。

印刷

県内官公需、民需共に昨年後半よりの新型コロナ感染症特別警戒により低迷。県外需要も首都圏の緊急事態宣言の影響で厳しい。昨年11月以降の回復傾向も中折れしてしまった。2月以降も厳しい状況は継続する見込。

生コンクリート製造

出荷量は前年同月比107%だが、地域偏在がある。高知市を中心とする地区の市況は低迷状態が、なお続いている。新型コロナ対策に予算が割かれ、建設関連予算が削減されることを危惧している。

コンクリート製品

出荷数量は、前年同月比91%。前年5月分の出荷から増加が続いていた。7～9月分は前年度より低下したが、10月分は、持ち直したが11月分は再度低下し、12月分は再度持ち直したが、1月分は低下した。

機械団地

防災関連で売上を伸ばす企業があるなど、業種等によりバラツキはあるものの、新型コロナ禍による影響は徐々に和らいできている。ヒトやモノの動きが制限されれば受注件数や工期に影響が出ると思われる。

刃物製造

売上高は前年より若干の減少。受注はあるものの供給が順調よくできていない。県内小売業者への卸が引き続き悪い。小売業者の販売が今後どうなるか心配である。

船舶製造

受注残の消化にて操業度は高い水準。新型コロナの影響で海外活動は停滞。

珊瑚装飾品製造

1月の取引額は前年同月比79%と、依然厳しい状況が続いている。

卸団地

1.成人式の連休も外食産業は低調、最悪の状況。2.外食業者への納入業者は営業日を減らすなどの対応をしている。3.新型コロナの影響がますます大きくなり、景気悪化が進んでいる。

青果卸売

自粛ムードの中、一般家庭内消費は増えている為、量販店向けの売上は好調であるが、業務関係はまだ悪化から抜け出せない。2月末までは無理ではないか？

生鮮魚介卸売

風などの影響もあり、全般的に魚が少なかった。カツオは大きいものがなく、小ぶりだったが高値で推移した。新型コロナ第3波の影響で魚屋、飲食業からの注文が減少。今後も得意先からの仕入れ減がありそう。

各種小売（土佐市）

新型コロナの感染者数が減っても、人の動きは戻らず、職種に関係なく厳しい状況が続いている。

ガソリンスタンド

サウジアラビアの独自追加減産により原油相場が騰勢を強め、調達コストを押し上げ、仕切り価格も毎週上昇。年末より連続の値上がりとなっているが、市況への転嫁が追いつかずマージンの圧縮となっている。

電気機械器具小売

全商品平均で前年比118%アップ。特に白物家電が好調。

中古自動車小売

展示台数、客単価の大きな変動はないが、先月から車検、整備等の受注件数が増えている。以前同様、市場相場が高水準なので仕入れには苦戦している。

商店街（安芸市）

新型コロナの影響がいつまで続くのか不安に思う。県内の感染者数が12月から徐々に増加し、1月になっても人通りが少なく外出を控えている様子。引き続き、需要の減少が心配される。

商店街（高知市）

中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比75.5%、台数:前年比81.5%。高知県の特別警戒は解かれたが、大都市部での緊急事態宣言の発令と、マスコミ報道により警戒感強く、来街者の増加には至ってない。

商店街（四万十市）

地域振興券や観光協会のクーポン券に期待。飲食店はお持ち帰りメニューで何とかしのいでいる店舗や早めに閉店するところもある。カラオケ店は閉店を考えている店もあり、切羽詰まっている。

旅館・ホテル

GoToキャンペーン停止も延長となり、宿泊、会議等のキャンセルなど見通しが立たず、我慢の日々が続く。

飲食店

時短要請の発表以降集客が激減、夜間だけではなく昼間の集客も激減。業態ごとに違いはあるが本来繁忙期のため前年度との差は大きく、業界全体の売り上げは前年度比5割程度が。

旅行業

組合クーポン前年同月対比 0.6%、全旅クーポンを加味して4.5%。

一般土木建築工事

令和3年1月分の公共用生コン出荷量は、前月比133.8%、前年同月比124.0%。公共工事請負金額は前年同月比で69.3%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。

電気工事

組合員の施工する電力引き込み線の工事は、前年比99.1%とほぼ同様となった。

一般貨物自動車運送

2ヶ月連続で燃料価格が上昇し経営に影響をあたえている。首都圏に2度目の緊急事態宣言がでたことにより荷動きが更に鈍くなったように感じる。経済活動の鈍化による物量の減少と経営悪化を懸念する。

タクシー

実働1日1車当りの前年同月比営業収入:59.1%、輸送回数:61.3%。実働率は51.6%。午後8時以降の会食制限の解除に伴い、少しは客が増えるかと思ったがまだまだといったところ。

忘れどまらぬ保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK



www.ms-ins.com